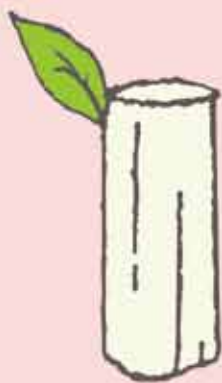


出る杭を伸ばす。

「出る杭は打たれる」とはいうけれど、
それでは地域は変わりません。
このセミナーは、「出る杭」になろうとする
女性を伸ばすセミナーです。



創業スクール
女性起業家コース
開講

女性のよさを活かす 女性のための起業塾

地域でこんな商品があったら、こんなサービスがあったら、もっと暮らしやすいと思いませんか？
女性の視点を活かし、あなたの思いをビジネスという「カタチ」にします。
ビジネスに必要な知識の習得だけではなく、持続可能なビジネスプラン作成のサポートをします。

1月9日、12日、13日、15日

10時～17時（1日6時間）受講料：10,800円

会場：東海市立市民活動センター / 東海市大田町後田 20 番地の 1 ソラト太田川 3 階

平成 26 年度地域創造促進事業

主催：特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPOセンター
問い合わせ先：特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPOセンター
〒462-0819 愛知県名古屋市北区平安 1 丁目 9 番 22 号
TEL052-919-0200 FAX052-919-0220
e-mail:kawashima@sf21npo.gr.jp 担当：川島、稲垣
URL: <http://www.sf21npo.gr.jp>

地域創造促進センター
創業スクール



女性のよさを活かす 女性のための起業塾 / カリキュラム

1日目 1/9 (金)	10:00-12:00	オリエンテーション	・カリキュラム全体の説明 ・本スクールの意義とねらい ・ビジネスプランの作成についての説明 ・自己紹介(アイスブレイク)
	13:00-15:00	先輩起業家から学ぼう	・創業の体験談 ・創業にあたっての心構え ・受講生へのメッセージ
	15:00-17:00	起業への期待とチャンス	・起業で地域を元気に ・多彩な法人形態と経営の特徴 ・女性の良さをいかしたビジネスモデルとは
2日目 1/12 (月)	10:00-12:00	ミッション・ビジョンはなぜ必要か	・ミッション・ビジョンはなぜ必要か ・ビジョンを描く"
	13:00-15:00	"ビジネスモデルとは魅力ある事業"	・営利・非営利のビジネスモデルとは ・ビジョン達成のための有効な事業の企画立案 ・有効な事業群と戦略計画"
	15:00-17:00	資金調達と公的支援制度の活用	・資金調達の手法(自己資金・補助金・融資等) ・創業者融資制度について ・小規模共催制度の活用について ・その他公的支援制度 ・融資や借入資料の作成ポイント
3日目 1/13 (火)	10:00-12:00	マーケティングを学ぶ	・マーケティングの基礎理論 ・マーケットリサーチの方法 ・商品とサービスのコンセプト作り
	13:00-15:00	"商品やサービスを売ろう! ～営業・販売戦略を考える～"	・新規営業開拓の方法 ・営業計画と販売計画の作成について ・販路開拓時における営業連携やパートナーシップ
	15:00-17:00	広報戦略	・WebサイトやSNSなどのITを活用した広報の基礎知識 ・具体的な作成ポイント
4日目 1/15 (木)	10:00-12:00	会計の基礎知識	・会計の基礎知識 ・財務諸表の読み方、作り方、活かし方 ・資金繰りの考え方 ・税務に関する基礎知識 ・資金計画の作成ポイント
	13:00-15:00	法務、労務	・創業時と創業後に必要な手続き ・知的財産や特許についての申請 ・商取引の基本となる法律の基礎知識(契約書の作成方法など)
	15:00-17:00	ビジネスプラン作成ワークショップ	・ビジネスプランの発表とブラッシュアップ

講師プロフィール

岡村 衡一郎

株式会社スコラコンサルタントプロセスデザイナー

起業で重要なポイントは自己の商品化と考え、その人のオンリーワンパーワンで勝負できる商品・サービスづくりを支援している。スモールビジネスも含め、多数の起業家を世に送り出す。後継者がリードする事業変革、組織変革の支援にも定評がある。「東洋経済Books Online」連載

後 房雄

名古屋大学大学院法学研究科教授、
公益社団法人日本サードセクター経営者協会代表理事

自治体と民間非営利組織の関係について、公共サービス改革とその手段としてのバウチャー制度の導入を提唱。著者に「NPOは公共サービスを担えるか」(法律文化社、2009年)、訳書に「ジュリアン・ルグラン『準市場 もう一つの見える手選択と競争による公共サービス』(法律文化社、2010年)など。

藤岡 喜美子

公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事、
一般財団法人 こども財団代表理事

東京海上火災保険株式会社を経て専業主婦となり、最年少の婦人会長を務め、地域で福祉ボランティアを複数立ち上げる。町議会議員を1期務める。事業型NPOのコンサルティングには定評がある。複数の基礎自治体にて政策アドバイザーを務める。新しい公共の推進会議委員、中小企業庁NPO等新しい事業・担い手研究会委員など政府委員を歴任。著書「ここがコミュニティ」「サードセクター組織のためのビジネスモデルワークブック」

松室 憲治

特定社会保険労務士

大学卒業後、カナダのカルガリーに留学。帰国後は、労働トラブルに巻き込まれ、やむなく本人訴訟を起こし、その経験から労働トラブル専門の社会保険労務士になる。現在は各種講師を務める傍ら、弁護士や税理士などの専門家と連携して問題解決に取り組む。

川上 里美

福祉サポートセンターさわか愛知理事長

市民参加による相互サポートシステムにより、買い物などの小さな手伝いから、高齢者や障がい者の時間預託まで幅広い活動を行う。24時間365日サービス提供を行う。事業規模3億円の社会的企業に成長させる。

坂田 静香

特定非営利活動法人男女共同参画おおた理事長

手がけたイベントのほとんどが定員オーバー、平均応募倍率は3.3倍)となるカリスマプランナー。そのノウハウを教えて欲しいと全国の自治体やNPO、市民団体から講演依頼が殺到し、日本全国年間150ヵ所以上の講演を行う。著書に「人が集まる! 行列ができる! 講座・イベントの作り方」講談社+α新書)など。

大塚 久俊

大塚会計事務所所長、名古屋税理士会・NPO支援専門研究会座長

昭和37年名古屋市生まれ。一般企業での勤務を経て30歳で会計事務所へ転職し、平成11年に名古屋市北区で大塚会計事務所を開業する。公益法人(NPO法人・社会福祉法人etc)と外国法人(英語圏)の会計・税務を得意としており、近年は企業の海外進出・国際相続にも力を入れている。

